

山形県立上山明新館高等学校 平成26年度 学校評価書

学校教育目標	(1) 心身ともに健康で、豊かな情操を持つ人間を育成する。
	(2) 真理を求め、責任を重んじ、社会の変化に対応してたくましく行動できる人間を育成する。
	(3) 創造力に富み、自ら考え、主体的に学ぶ意欲と豊かな知性を持つ人間を育成する。
	(4) 国際的な視野を持ち、郷土を愛し、社会に奉仕し貢献できる人間を育成する。

目指す学校像	(1) 校訓「日日新 又日新」(日々新たに、また日に新たなれ)のもと、品性を身につけ、個性を伸ばし、たくましく生きる生徒を育てる。
	(2) 専門学科の知識や体験、資格を活かして社会に貢献しうる、意欲あふれる生徒を育成する。
	(3) 特別活動を充実させ、自治的能力を備えた生徒を育成する。

< 評価基準 A:達成 B:概ね達成 C:やや不十分 D:不十分 >

領域	重点目標	評価項目・具体的目標(1~15)	H26評価	昨年度	次年度に向けた課題と改善策	学校関係者評価(平成26年度)
生徒理解	①不適応生徒への対応の充実 ②面談及び教育相談活動の充実 ③教職員の生徒理解を図る研修の充実	1. 面談週間を年2回設定し、生徒理解に努める。 ・学校適応指導委員会の開催 年9回 ・教育相談事業の実施 年24回 ・教職員の研修会の実施 年1回	① B ② B ③ B	① B ② A ③ B	・計画的かつ組織的な面談活動の継続 ・学校適応指導委員会の開催回数の維持 ・職員間の学校不適応生徒情報の共有 ・職員研修会の実施時期と内容の検討 ・校外の研修会への積極的参加	・センター試験の受験者がここ数年少なかったが、今年は多くてよかった。山市役所、上山消防士に合格者が多かった。素晴らしいことだ。 ・スマホの使い方について、PST座談会で、保護者・生徒・教員が一緒に話すのは、良い企画だと思う。 ・将来、山市や山形市は人口減少が進む。地域に貢献できる生徒を育ててほしい。 ・山市にあるただ一つの学校であり、「活力あふれる高校づくり推進事業」は、良いことだと思う。地域の小さなボランティア、例えば地域の夏まつりや運動会などに、生徒がもっと参加できないかを考えている。 ・登校時、生徒の挨拶が良くなっている。特に、運動部の生徒の挨拶が良い。 ・自転車通学のマナーが悪く、違反切符を切り、警察に呼び講習しようという話が出ていた。交通安全指導の徹底を図ってほしい。
学習指導	①学ぶ意欲の向上 ②学習習慣・基礎学力の定着 ③指導法の研究・改善 ④学習センターの利用拡大	2. 出席率99%以上 3. 授業第一の考えの徹底と家庭学習時間の確保 ・生徒による授業評価と授業改善 ・家庭学習時間調査の実施 ・教科ごとに1人以上の研究授業の実施 ・クラス一斉読書、全校一斉読書の実施 ・1人年間3冊以上の図書貸し出し	① B ② C ③ C ④ B	① B ② C ③ B ④ B	・出席率の目標達成のための方策の検討 ・家庭学習の時間の確保を求める指導の工夫と徹底 ・他教科の研究授業や校外研修等への積極的な参加による指導法の改善 ・読書指導と小論文指導の連携	
生徒指導	①品性ある行動と規範意識の向上 ②特別活動の充実と自治的能力の向上 ③部活動の更なる充実・発展 ④地域貢献活動への積極的参加	4. 校訓の理解と実践および挨拶の日常化 5. 規範意識の向上と問題行動の減少 6. 部活動の奨励 全国高校総体等団体2、個人5人以上 全国高校総体文祭等団体1、個人5人以上 7. 地域貢献活動・ボランティア活動の理解と積極的参加 ・交通マナー指導と交通街頭指導の実施 ・生徒会活動の活性化	① B ② B ③ B ④ B	① C ② B ③ B ④ A	・問題行動の未然防止といじめ防止のための情報共有と全職員での取組み ・公共マナーと交通ルール遵守の徹底 ・目標達成に向けた部活動の奨励 ・地域貢献活動の継続と更なる推進 ・自主的・主体的な活動とリーダー育成	
進路指導	①キャリア教育の推進 ②一人ひとりの進路実現 ③進路目標の早期設定 ④組織的・機能的な指導体制の確立	8. 「キャリア教育総合実践プログラム」の実施 9. 国公立4年制大学10名以上、私立大学60名以上合格 10. 看護・医療系専門学校30名以上、公務員10名以上 11. 就職内定率100% ・「進路の手引き」の活用、ガイダンスの充実	① B ② B ③ B ④ B	① B ② B ③ C ④ B	・キャリア教育総合実践プログラムの浸透 ・インターンシップの深化 ・国公立4年制大学7名合格に至った指導法の継承 ・職員対象小論文研修会と生徒対象小論文講座の継続実施	・「山市農業大学校」の生徒の発表が良かった。今後もお願いしたい。 ・地域に配布している「明新館通信」は、カラーでわかりやすい。 ・新聞等の報道で、明新館の生徒達の活躍を知り素晴らしいと思っている。 ・生徒のアンケートで、学校評価アンケートの結果が反映されているのかわからないという記述があった。生徒に伝える努力をしてほしい。
信頼される学校づくり	①PTA活動を通じた保護者との連携 ②外部評価の実施と活用・公開 ③情報発信による開かれた学校 ④地域関連学習の促進 ⑤積極的な研修と資質向上	12. PTA総会、PTA学年部会出席率60%以上 13. PST(保護者・生徒・教員)座談会の実施 ・学校評価アンケートの実施 14. 学校HPの毎月更新「明新館通信」や学年通信の発行 15. 魅力ある学校づくり 中学生体験入学 ・地域関係機関や農家と連携した研究 ・「研修集録」の発行	① A ② B ③ A ④ A ⑤ B	① A ② B ③ A ④ A ⑤ B	・60%を超えたPTA総会参加率の維持と各種PTA活動の充実 ・学校評価アンケートの有効活用 ・学級学年通信・明新館通信他、各種印刷物による保護者と地域へ情報発信 ・ボランティアを通じた魅力と活力のある学校づくりの推進 ・校内研修会の充実	

アンケート評価

生徒 回収率99.6%	今年度、「ロングホームは意義ある内容になっている」が7ポイント上昇し、担任をはじめ、先生方の努力の成果が現れた。また、「家庭で学校の話をしている」が6.2ポイント向上しており、生徒と保護者のコミュニケーションの良さをうかがい知ることができる。低評価項目は、昨年と同様に「よく質問に行く」と「読書」についてであるが、生徒が質問に来る仕掛けを考えたい。学習センターの広報紙「新着案内」や「図書だより」は効果的であるが、日頃から教員が読書の楽しさを伝えることも肝要である。高評価が13項目あり、生徒は概ね学校生活を肯定的に捉えている。
保護者 回収率88.6%	高評価について、今年度、「生徒の進路目標達成のために努力」「清掃が行き届いている」「教職員の対応は親切」の3項目が新たに加わり、高評価が9項目となった。先生方の地道な取り組みと努力が保護者の皆様に伝わっていることがわかる。一方、低評価項目は、昨年と同様に「PTA活動など学校の諸活動に協力」「教職員とのコミュニケーション」の2項目であるが、日頃から教職員に何でも相談していただける環境づくりを心掛けたい。直接記述にあった通学時の安全対策と列車不通時や自然災害時の緊急連絡方法の見直しについては、喫緊の課題として改善を図っていく。
教職員 回収率100%	10ポイント以上の向上は「校訓の理解」「教育課程」「教職員の仕事上の連携が円滑」の3項目であった。特に「教育課程」については、多様な進路に応じた教育課程についての評価と専門科における生徒の活躍を踏まえた評価と思われる。「仕事上の連携」は、各学年、各分掌、各専門科の内部のみならず、職員全体として連携できる雰囲気があることと表れと思われる。低評価は「生徒が質問に来る」「校務分掌のバランス」「授業研究の環境」であるが、特に「授業研究の環境」は設備面ではなく、時間面の低い評価であると思われる。教材研究の時間を十分確保できるような環境を整えたい。